



# あいじつ



開校146周年

## 6年生の教室での出来事

校長 水野 睦子

5月には、学校公開へのご来校ありがとうございました。子どもたちの頑張りや友達との交流、新しい学級担任とのやりとりなどの様子をご覧いただけたかと思います。子どもたちや教職員に対するたくさんの温かい感想をいただき、ありがとうございました。大変励みになります。また、課題については教職員で共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。

さて、保護者会でもお伝えしたように、私は、ことあるごとに「思いやり」の大切さについて子どもたちに話をしています。今年度は、ぐんぐん育っている子どもたちの「思いやり」の心が、「相手」に伝わるように行動に移すことを様々な場面で考えさせています。

5月のGW明け、私はどうも風邪を引いたらしく、鼻水が止まりませんでした。鼻栓をし、マスクをして校内を歩いていた。6年生の教室に行くと、男の子2人が話し掛けてくれました。

A君：「校長先生のマスク姿、初めて見た。」

水野：「そうなの。昨日から鼻水が止まらなくて。学校で、初めてマスクをしました。」

B君：「校長先生、花粉症？」

水野：「花粉症じゃないと思うんだけど、もしかして花粉症デビューかなあ？心配をしてくれてありがとう。

とってもうれしい。初めてマスクをしたことにも、よく気付いてくれたね。」

2人は、「あれっ、いつもと違うぞ。大丈夫かな？」と思い、その思いを言葉にして、私（相手）に伝えてくれたのです。2人の思いやりの心が伝わってきて、本当に幸せな気持ちになりました。

東京都教育委員会は、6月・11月・2月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と定めています。6月は、改めて「思いやり」について考えさせていきたいと思えます。学校、家庭、地域が連携し、「相手」を意識して行動できる「思いやり」の心をもった子どもたちと一緒に育てていきましょう。何か心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

## 校内研究について

校内研究担当 山田 優希

今年度は「生き生きと自分の思いや考えを伝え合おうとする児童の育成」をテーマに、外国語や外国語活動の授業に重点を置いた研究に取り組んでいます。特に、達成感をもたせて伝え合う力を育てる指導に重点を置いて、研究を進めていきます。

昨年度に引き続き、子どもたちが互いに聞き合い、話し合いたいくなるような授業づくりだけでなく、多様な言語や文化に触れる機会を増やしています。イングリッシュキャラバン（5月22日）、ギリシャの方々をお招きしての国際交流（10月15日）など、子どもたちが外国の言語に触れ、生のコミュニケーションを通して国際理解を深めることのできる活動を計画しています。学校生活の様々な場面で、子どもたちが自信をもって自分の思いを伝えたり、伝えることによって達成感をもったりできるように研究して参ります。

## 水泳指導について

水泳担当 富樫 孝太郎

今年も水遊び・水泳運動の季節がやってきました。今年度の指導期間は、6月15日（月）～9月18日（金）となります。

子どもの成長期とされる小学生の時期に、水に触れた学習をすることにはいくつかのメリットがあります。①風邪を引きにくくなる。②脳が活性化する。③適度な有酸素運動によるストレスの軽減。など、心身ともに非常に良い影響を与えてくれます。各学年10時間程度の学習となりますが、たくさん水に触れ合い、充実した学習となるように指導をしていきます。

水着や水泳帽、タオルの準備をお願いいたします。また、定期健康診断の項目で再検査をしないとプールに入れないものもありますので、早めの受診をお願いいたします。